

「入浴剤」「防水音楽プレーヤー」「アロマ」などの お風呂グッズ、30代の関心高く「元気」を求めて投資額 NO.1

～ 「お風呂での教育」に熱心なのは「30代・男性」の傾向 ～

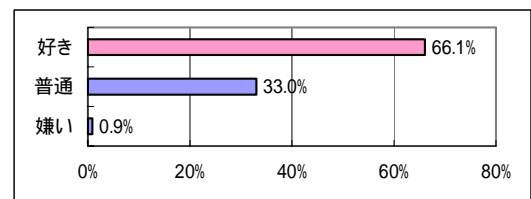
湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、取締役社長:神崎 茂治、資本金:201億円、東ノ大証一部上場)は、当社が取り組んでいる「浴育」に関する情報発信の一環として、全国の男女1,786人を対象に「入浴時のお風呂グッズの活用」の実態について調査しました(巻末に概要を記載)。

「浴育」とは、広い意味での「お風呂の時間の活用の仕方に対する教育」を指す言葉であり、現在入浴に関連する各企業が取り組んでいるテーマです。「浴育」という言葉を「知っている・聞いたことがある」人は、現在全体の3割ですが、日常に密着したテーマのため、今後さらに普及することが予測されます。本調査では「お風呂グッズの活用実態」「お風呂グッズと教育」「お風呂グッズと健康」という切り口で調べたところ、特に30代の関心の高さがわかりました。

30代がハマるお風呂グッズ、「元気になれる効果」を求めて投資額トップ

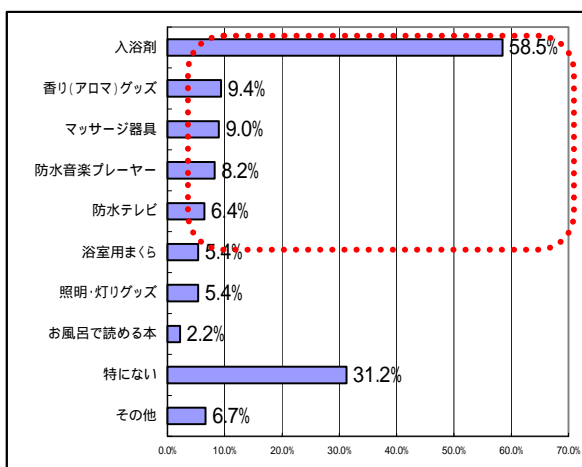
日本浴用剤工業会の調査によると、入浴剤の出荷額は、2006年で385億円と、2年連続で前年実績を上回っており、入浴剤をはじめとした「お風呂グッズ」に近年注目が集まっていることがわかります。私たちのお風呂好きは、ますます高まっているようで、「お風呂は好きですか?」とたずねたところ、実に66.1%の人が「好き」と回答しました。

あなたはお風呂が好きですか。(n=1786)

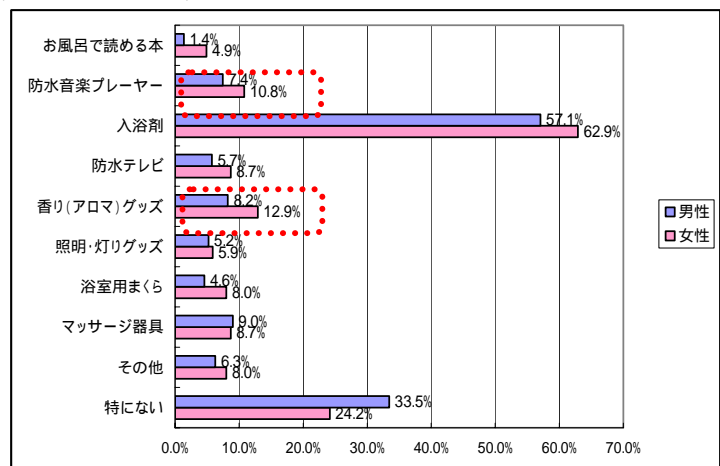


では、現在各家庭にはどんなお風呂グッズがあるのでしょうか?使われているグッズのベスト5を調べたところ、1位はやはり「入浴剤」。そして2位以降は「アロマグッズ」、「マッサージ器具」、「防水音楽プレーヤー」、「防水テレビ」がランクイン。メカニクなお風呂グッズに人気があるようです。男女でみると、女性のほうが、グッズ使用率が高く、アロマグッズや浴室音楽プレーヤーなどの利用率が特に高くなっています。

現在、あなたの家には、どのようなお風呂グッズがありますか。(複数選択可、n=1786)

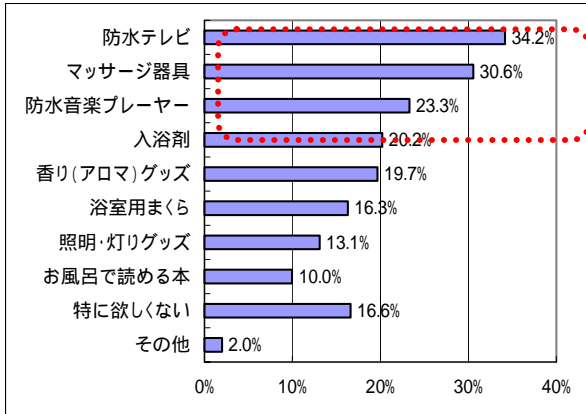


現在、あなたの家には、どのようなお風呂グッズがありますか。(複数選択可、n=1786)

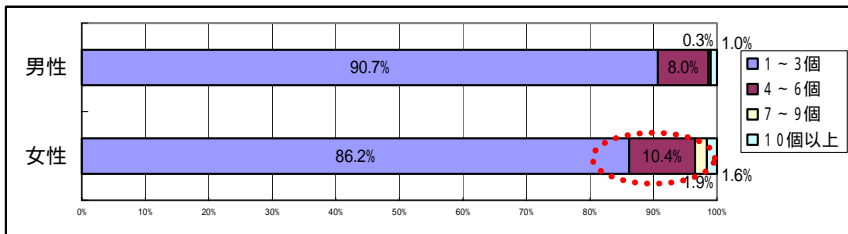


また、欲しいお風呂グッズとしては、「防水テレビ」「マッサージ器具」に次いで「防水音楽プレーヤー」が3位にランクインしており、次世代お風呂グッズとして注目されていることが伺えます。お風呂グッズの所有数は、全世代通じて「1から3個」という人が9割を占めますが、女性の1割は、「4個から6個」も所有しています。

あなたが欲しいお風呂グッズはどのようなものがありますか。
(複数選択可、n=1786)

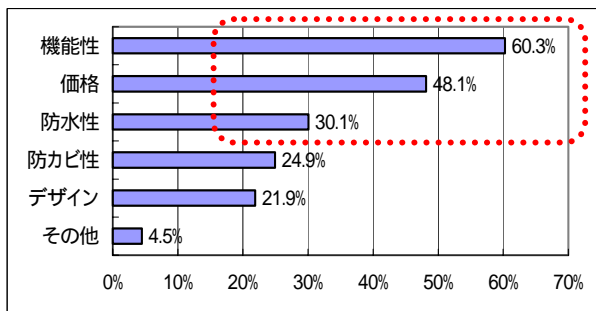


お風呂グッズは何個ありますか。(n=1211)

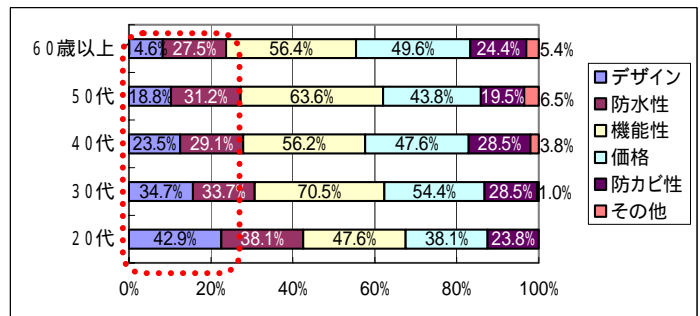


お風呂グッズについてこだわる点は、「機能性」「価格」とともに「防水性」と答えた人が多く、本格的な機能が求められていることがわかります。また、近年デザイン家電が流行していますが、若い世代ほどお風呂グッズの「デザイン」にこだわる傾向が強くなっています。

あなたは、お風呂グッズのどのような点にこだわりますか。
(複数選択可、n=1211)

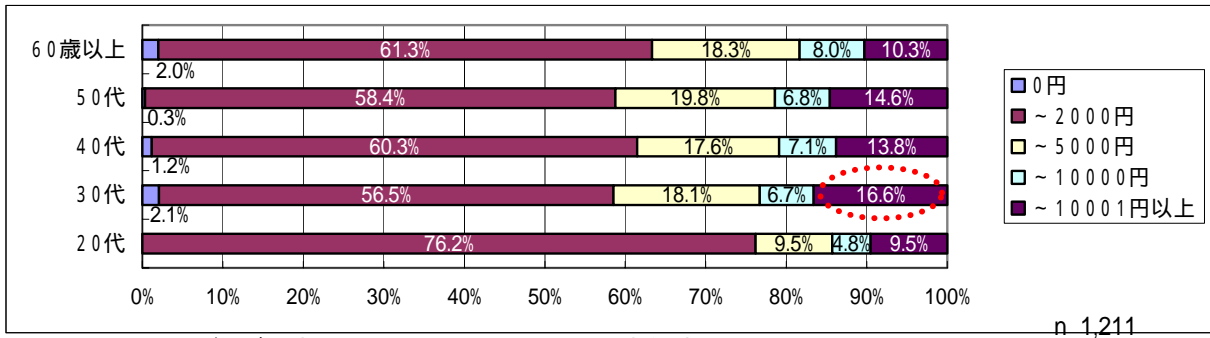


あなたは、お風呂グッズのどのような点にこだわりますか。
(複数選択可、n=1211)

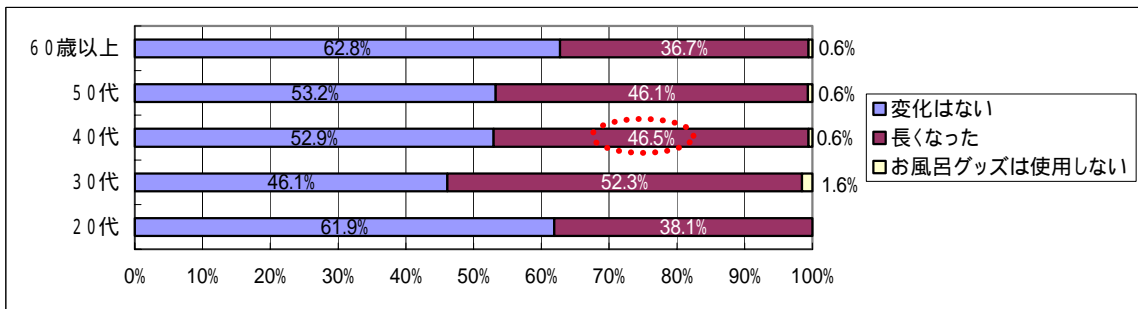


お風呂グッズへの投資額ですが、全体では「2,000円まで」という人が最も多く59.8%でしたが、中には「10,000円を超える」という人も13.4%いました。年代別に見ると、投資額が「10,000円を超える」人は30代が多く、この年代のお風呂に対する関心の高さが伺えます。また、30代はお風呂グッズ使用によりお風呂での滞在時間に変化が起きた率もトップで、52.3%の人が「長くなった」と回答しています。

あなたの家のお風呂グッズの合計金額はどれくらいですか。(n=1211)

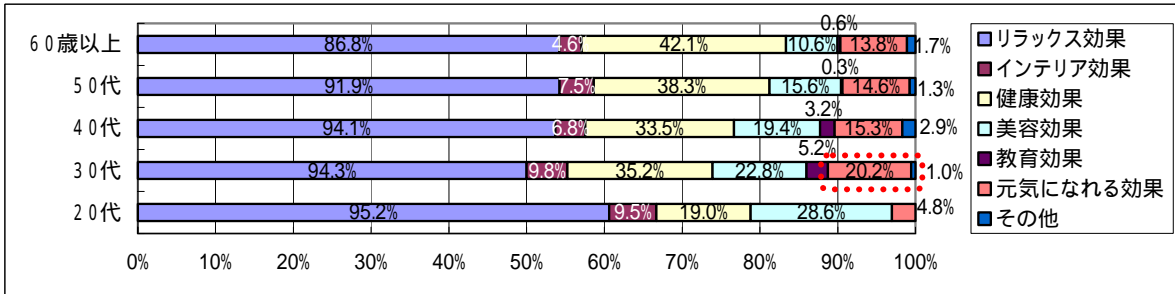


あなたは、お風呂グッズを使用することによりお風呂での滞在時間に変化はありましたか。(n=1211)



お風呂グッズへの関心が高い30代。この世代の「お風呂グッズ」に求める効果の中で、他の世代よりも多かったのが「元気になる効果」でした。働きざかりの30代は、お風呂グッズで元気をチャージしているのでしょうか。

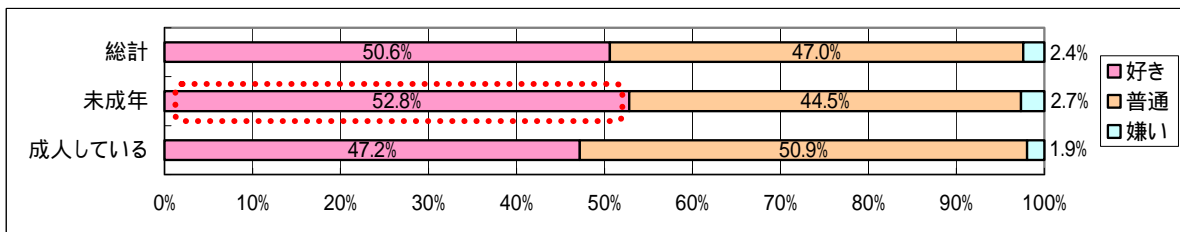
あなたは、お風呂グッズにはどんな効果があると思いますか。(複数選択可、n=1211)



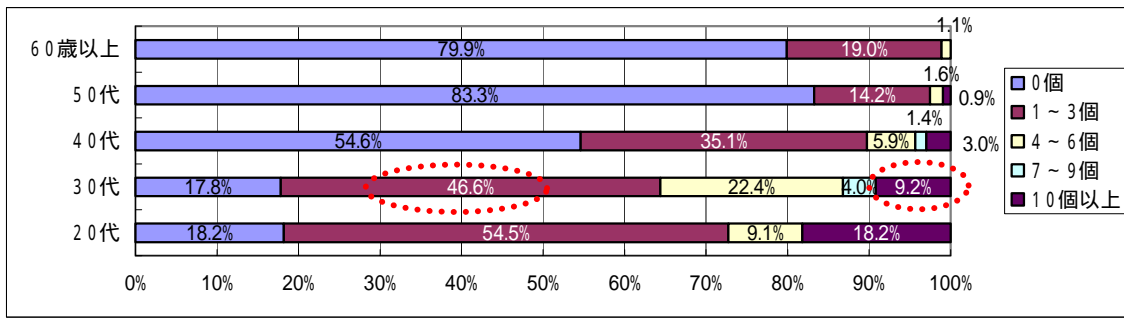
子どもがいる家庭のお風呂グッズの使用目的は「お湯への親しみ」「コミュニケーション能力」

続いて、子どもがいる家庭でのお風呂グッズの活用についても調べました。まず、「あなたの子はお風呂好きですか？」とたずねたところ、未成年の子を持つ人の52.8%が「好き」と回答。日本人のお風呂好きは次世代にも受け継がれているようです。現在保有しているお風呂グッズの数についてたずねたところ、子育て世代の30代の半数は1~3個を所有、10個以上を保有している家庭も1割ありました。

あなたの子はお風呂が好きだと思いますか/あなたの子は成年していますか。(n=1051)

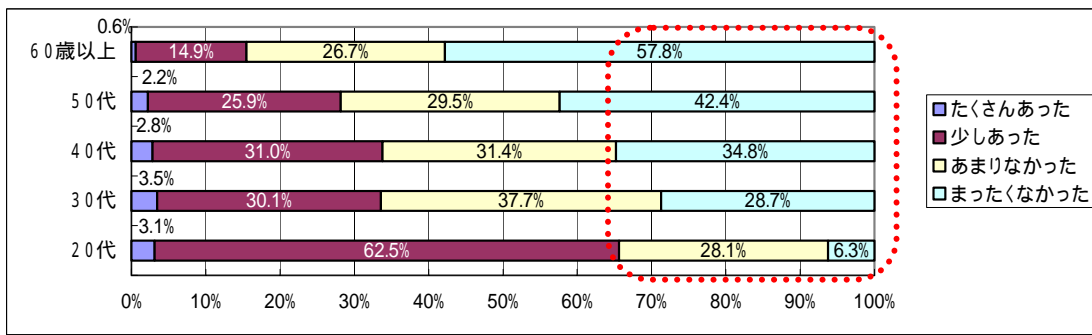


現在、お風呂に子供用のお風呂グッズはいくつありますか。(n=1051)



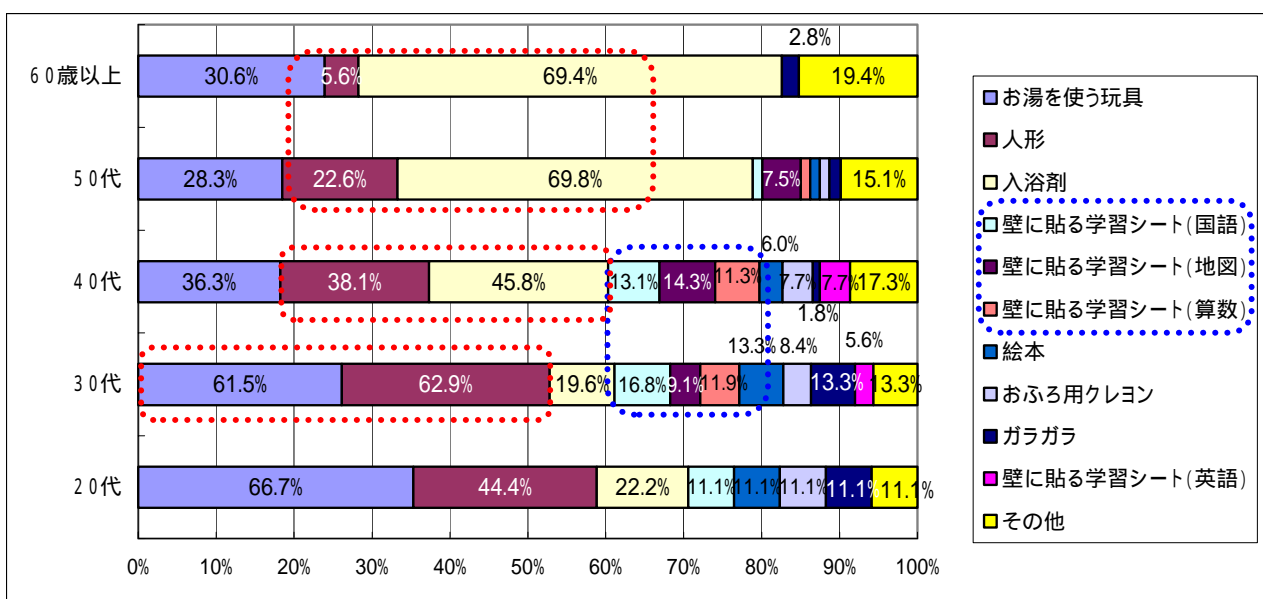
ちなみに、子どものころにお風呂グッズが家庭にあったかどうか調べたところ、「まったく無かった」という回答は世代が下がるにつれて少なくなっています。子どもが入浴中にお風呂グッズに親しむ習慣は、戦後各家庭にお風呂が普及する率と比例して定着してきたのかもしれない。

あなたが子供の頃、あなたの家にはお風呂グッズはたくさんありましたか。(n=1786)



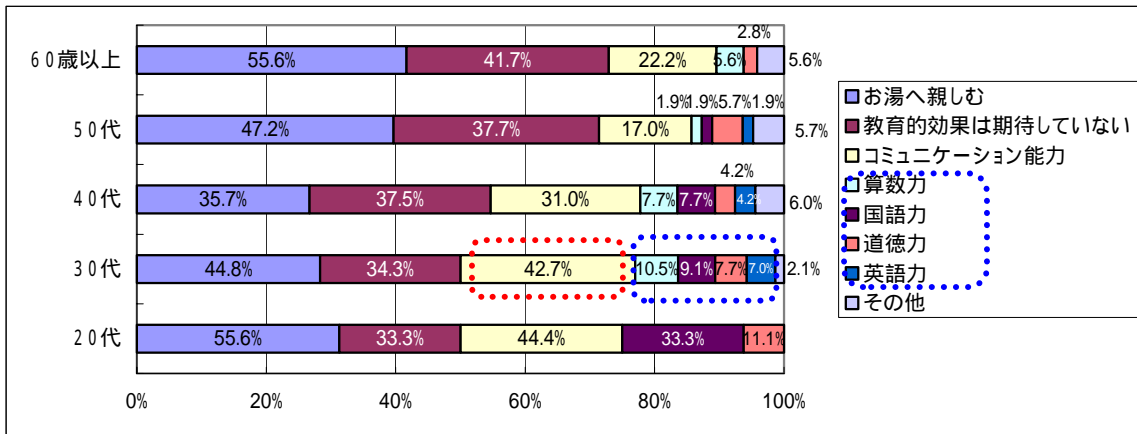
保有しているグッズの種類をたずねたところ、一般的に小さい子どもがいる家庭が多い30代は「人形」「お湯を使ったからくり玩具」が多く、少し子どもが大きくなる40代は「入浴剤」が多くなっています。また、30・40代は他の世代と比べると、浴室の壁に水で貼り付けて使う「学習シート」の導入率が4割となっており、50代以上と比べると4倍の開きです。お風呂で子どもと国語、算数、地理などについて話しているようです。さらに、おじいちゃん・おばあちゃん世代の50代・60代では圧倒的に入浴剤が多く、孫と浴槽につかりながらコミュニケーションを楽しんでいる様子が伺えます。

どんな子供用のお風呂グッズがありますか。(複数選択可、n=409)

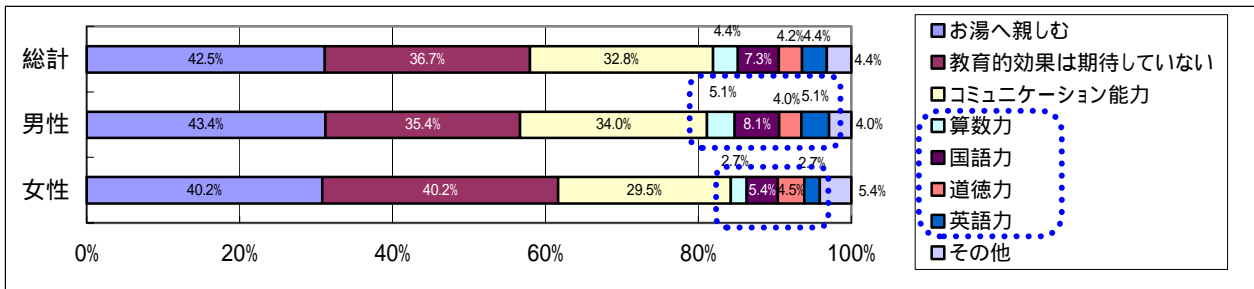


各家庭で様々な楽しませているお風呂グッズ。その教育的効果については、30代では「お湯に親しむこと」と並んで「コミュニケーション能力を高めること」がトップでした。その親世代の60代は「お湯に親しむこと」という回答が突出しているのと対照的です。「浴育」の一環として、お風呂グッズを通じてコミュニケーションを図っている20～40代の家庭が多いことがわかりました。また、「算数」「国語」「道徳」「英語」を伸ばすこと、と回答した人の合計は、年代で見ると30代が多く34.3%。男女で見ると男性の22.3%、女性では15.3%。総合すると、「30代・男性」が、お風呂空間を使った教育に関心が高いといえるのではないのでしょうか。

あなたは、子供用のお風呂グッズにどんな教育的な効果を求めますか。(複数選択可、n=409)



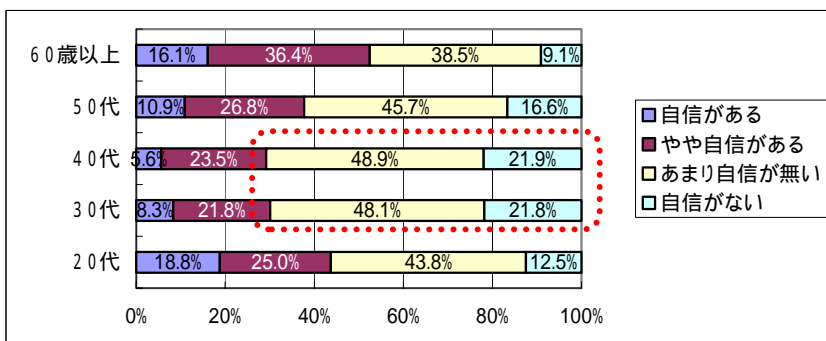
あなたは、子供用のお風呂グッズにどんな教育的な効果を求めますか。(複数選択可、n=409)



30・40代の7割は生活習慣に自信なく、お風呂グッズに求める要素に「健康効果」

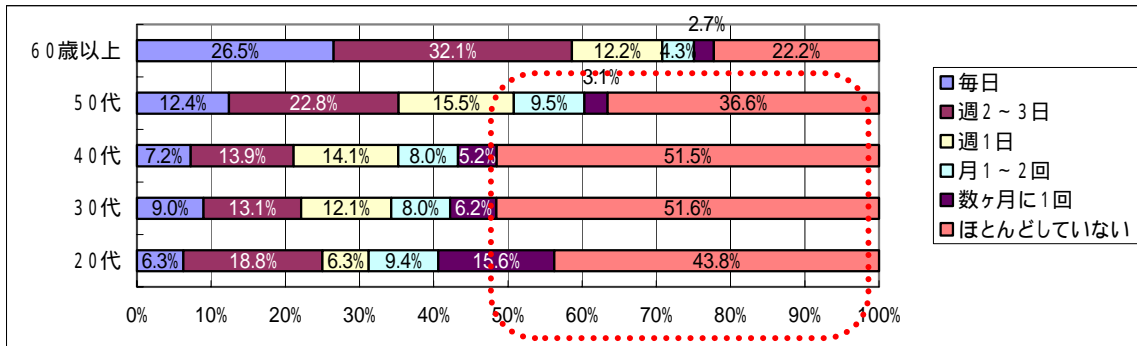
最後に、お風呂グッズと健康効果についての意識も調査しました。4月から特定健診・特定保健指導が義務化され、糖尿病、高血圧、高脂血症などの「生活習慣病」の該当者、予備群を減らすため、「内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム)」に着目した生活習慣病予防対策が導入されます。これに関連して、自分の生活習慣に対する自信度を調べたところ、特に働き盛りの30・40代の7割が「あまり自信が無い・自信が無い」と回答しました。

今話題の「メタボ」、あなたは自分の生活習慣に自信がありますか。(n=1786)



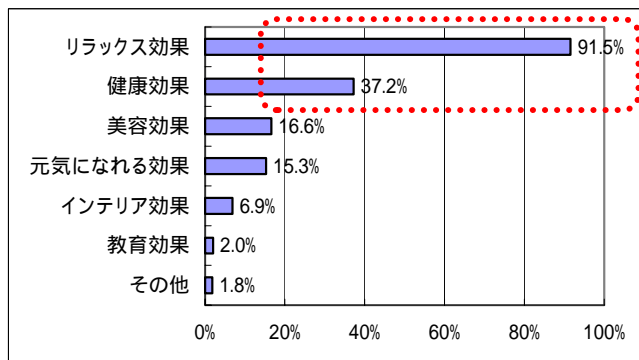
30・40代は自信が無いだけでなく、対策もなかなか取れていないようです。生活習慣を改善する一つの方法である「定期的な運動」を行っている30・40代は半数以下。そして2人に1人が「ほとんどしていない」と回答しています。

あなたは定期的に運動をしていますか。運動する頻度をお答えください。(n=1786)



入浴行為にはお湯の温かさが身体の新陳代謝を促す「温熱効果」や、水圧によって血行やリンパの流れをよくする「静水圧効果」、浮力で身体が軽くなることで筋肉の緊張をときほぐしリラックス効果が高い「浮力効果」などがあり、健康促進の助けとなります。実際に、お風呂グッズの効果についてどう捉えているかを調べたところ、「リラックス効果」とともに「健康効果」を狙っている人が多い結果となりました。今後は、「健康のため」という目的でお風呂グッズが使われることがさらに多くなるかもしれません。

あなたは、お風呂グッズにはどんな効果があると思いますか。(複数選択可、n=1211)



当社でも、今後「浴育」の一環としてお風呂グッズの必要性がより高まると捉えており、より豊かなお湯生活を送っていただくためのご提案として、給湯器、システムバスというお湯まわりの「ハード」の開発とともに、浴室空間を楽しむ「ソフト」の開発も進めてまいります。

アンケート調査概要

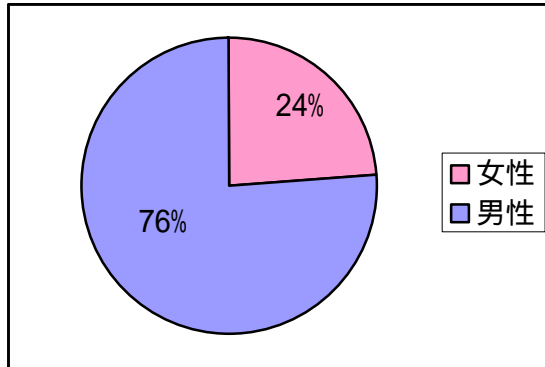
【方 法】Web アンケート

【期 間】2008年2月19日～21日

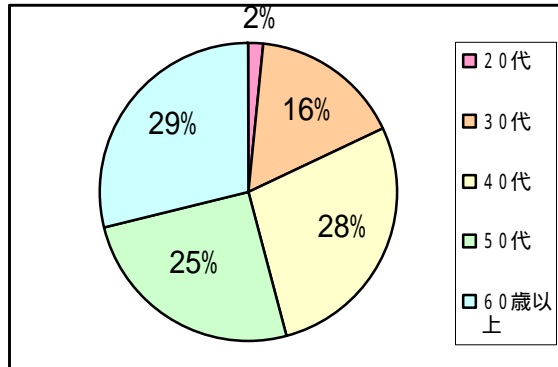
【対 象】ノーリツインターネットサイト「^{ノーリツスタイル}NORITZSTYLE つかりコムねん」会員（全国の全世代男女）

【サンプル数】1,786

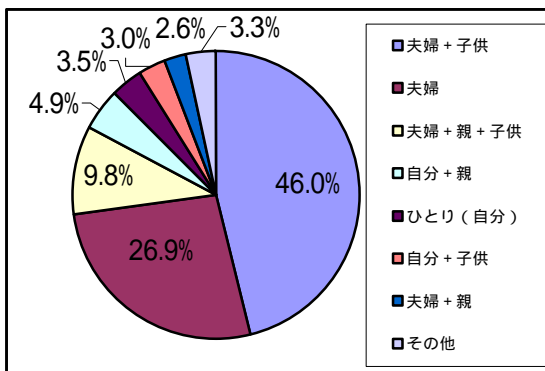
性別 (n=1,786)



年代 (n=1,786)



家族構成 (n=1,786)



職業 (n=1,786)

